

現場主義、グループウェア

# desknet's NEO

デスクネッツ ネオ

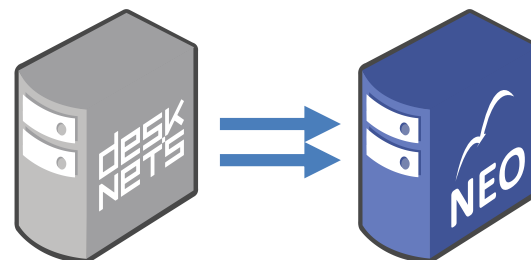
<セッション2>  
desknet's NEOへの移行方法・手順



# 本日正式紹介する移行プラン

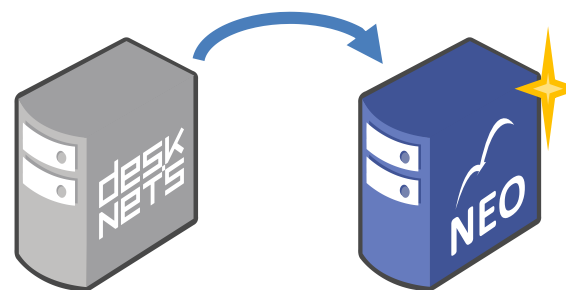
## 1. 同じサーバーでdesknet's NEOを使う

- 現在お使いのdesknet'sサーバーで、そのままdesknet's NEOをご利用いただけます。
- 動作環境とシステム要件があれば、追加コストなしで移行できます。



## 2. 別のサーバーでdesknet's NEOを使う

- 新しいサーバー環境にデータを移して、desknet's NEOをご利用いただけます。
- 物理サーバー以外に、仮想サーバー、レンタルサーバーやIaaSも利用できます。 ※条件あり、後述



## 3. desknet'sクラウドを使う

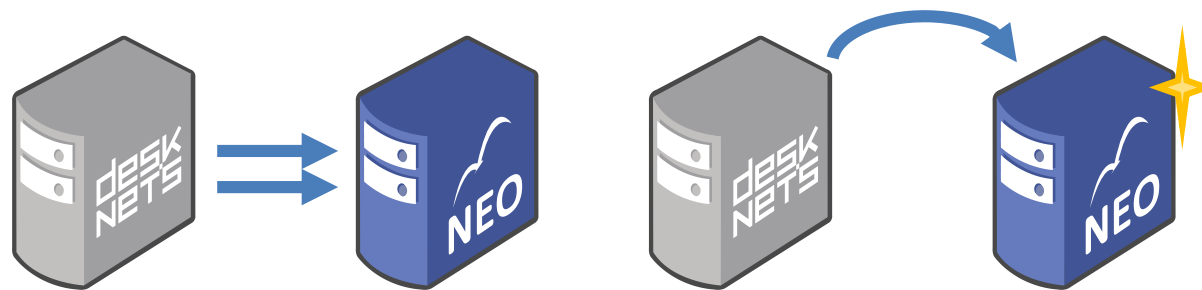
- ネオジャパンが運営するdesknet's NEOのクラウドサービス「desknet'sクラウド」に環境を移して、desknet's NEOをご利用いただけます。



オンプレミス

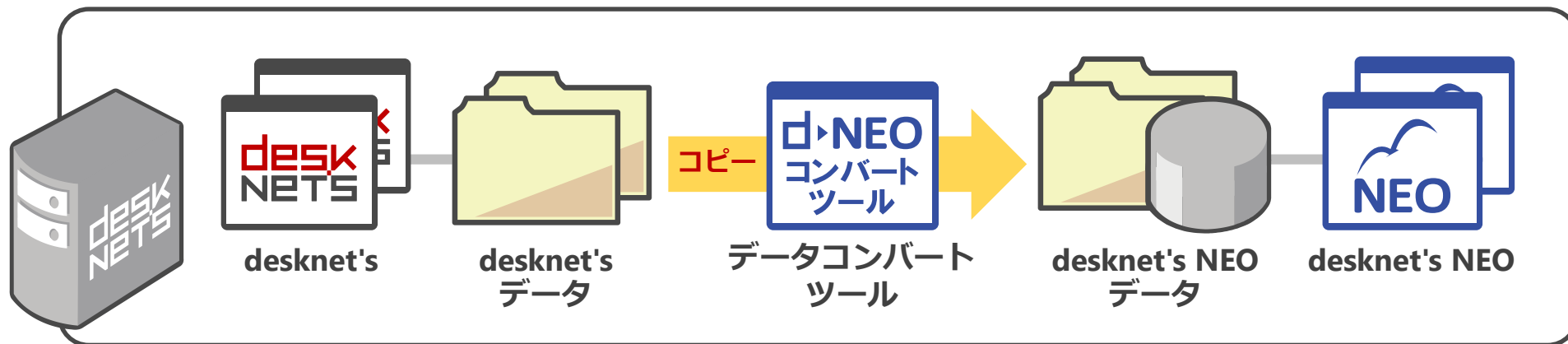
クラウド

# 現在と同じサーバー／別のサーバーで desknet's NEOを使う



# データコンバートツールによる情報の引き継ぎ

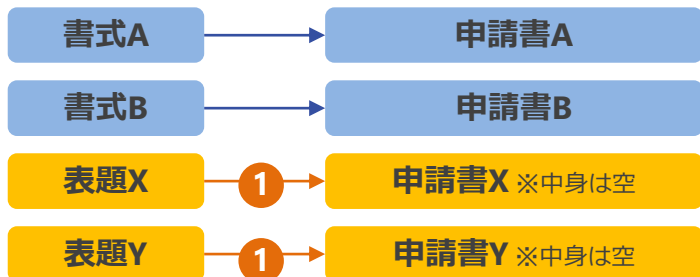
- 現在お使いのdesknet'sに登録されたスケジュールやメールなどの情報は、専用のデータコンバートツールにより、すべてdesknet's NEOに引き継ぐことができます。
  - データコンバートツールを実行すると、移行元desknet's環境に登録されたデータが、移行先desknet's NEO環境にコピーされます。



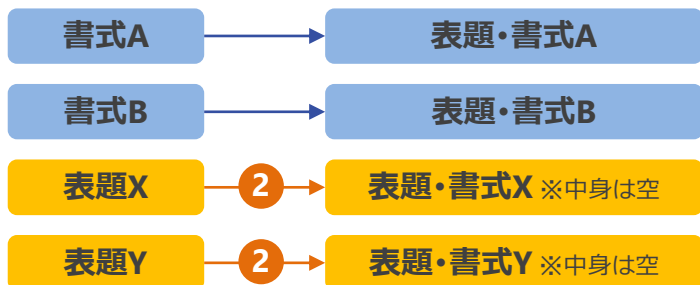
- コンバート処理は、移行元desknet's環境のデータを一切編集・更新しません。
- コンバート処理は何回でもやりなおせます。（機能ごと※/最初からやりなおし）
- **ポイント:** 移行元のdesknet's環境を運用中であってもコンバートを試せます。本番実施前に、正しくコンバートができるか、コンバートに何時間かかるかを確認できます。
- **注意点:** 各種データに加え、添付ファイル・ウェブメール本体などもすべてコピーされるため、サーバーに現在使用している容量以上(約1.5倍を推奨)のディスク空き容量が必要です。

※ユーザー・グループ情報、ウェブメールデータについては最初からやりなおしのみ

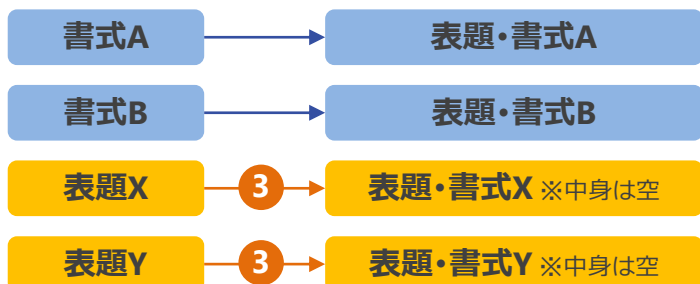
## ワークフロー



## アンケート



## 回覧・レポート



コンバートオプション確認ダイアログ

お客様のご利用方法に応じて、コンバート内容を変更することができます。  
以下の項目について、コンバートする項目にチェックしてください。

コンバート対象	概要	備考
<input checked="" type="checkbox"/> ① ワークフロー	表題設定のデータを申請書 (表題・書式・経路) 設定へ移行	表題設定を申請書 (表題・書式・経路) 設定に統合します。 ※表題設定はメニューから削除されるため、表題設定を移行しない場合、表題設定のデータは削除されます。
<input checked="" type="checkbox"/> ② アンケート	表題設定のデータを表題・書式設定へ移行	表題設定を書式設定に統合します。 ※表題設定はメニューから削除されるため、表題設定を移行しない場合、表題設定のデータは削除されます。
<input checked="" type="checkbox"/> ③ 回覧・レポート	表題設定のデータを表題・書式設定へ移行	表題設定を書式設定に統合します。 ※表題設定はメニューから削除されるため、表題設定を移行しない場合、表題設定のデータは削除されます。
<input checked="" type="checkbox"/> 画像ファイル	サムネイルファイルの作成	<p>①～③は各機能の「表題」に登録されたデータを残す (ON) か消す (OFF) か判断つかない場合は チェックONのままコンバートを実行して後から機能管理画面で確認を</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>キャビネットに登録されている画像</li> </ul>
<input checked="" type="checkbox"/> 検索用の索引を作成	添付ファイル内を検索するための索引を作成	<p>下の2つはチェックONのまま</p> <p>に登録されている添付ファイル内の検索が可能になります。</p>

OK      キャンセル

## 無視してよいエラー

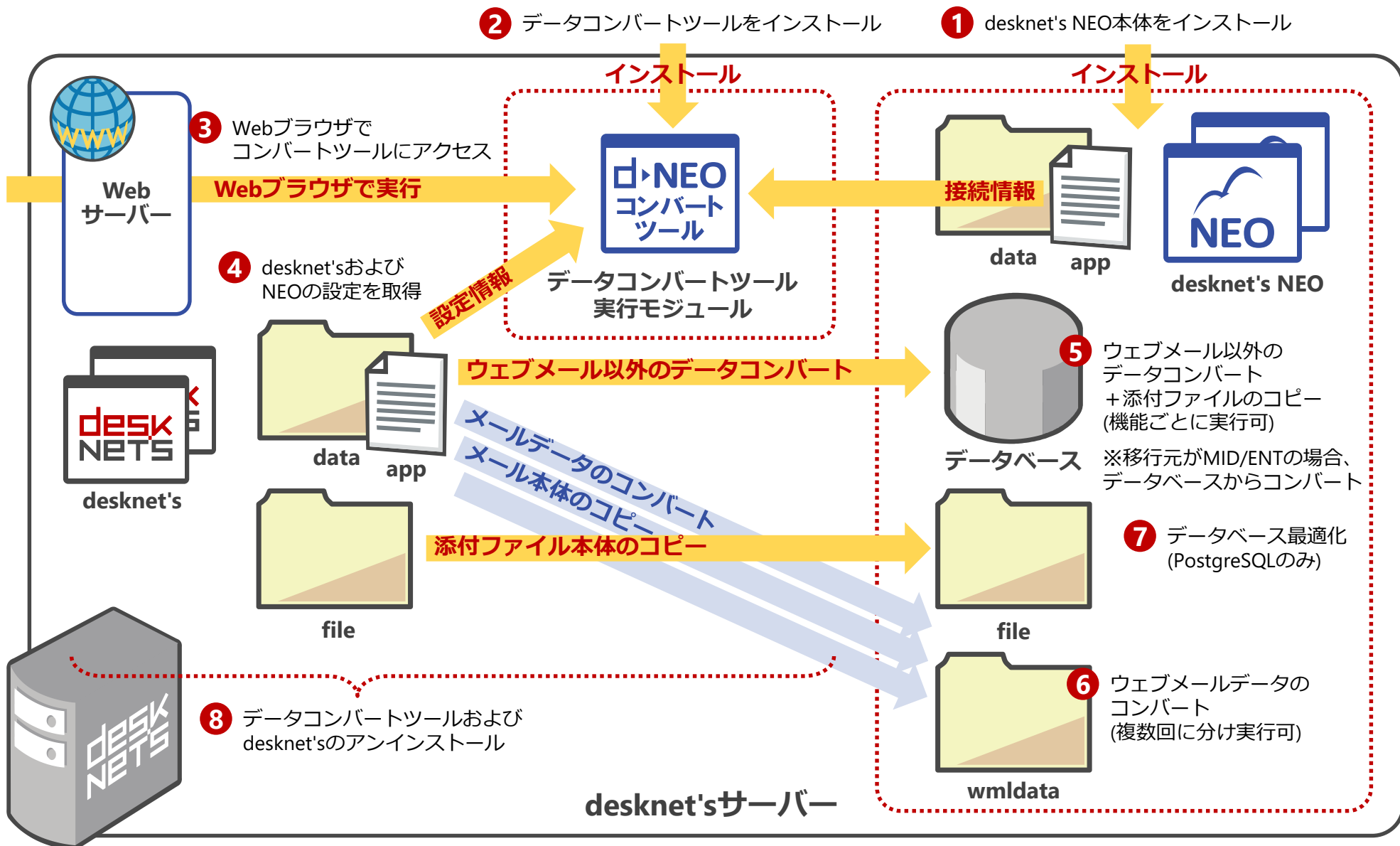
- 「整合性制約エラーが発生しましたが処理を続行しました。」  
「他ユーザーToDoの登録に失敗しましたが処理を続行しました。」  
「該当レコードなしエラーが発生しましたが処理を続行しました。」
  - 既に削除されたユーザーやデータに紐付けられていたデータがゴミとして見つかりました。無視して問題ありません。
- 「重複エラーが発生しましたが処理を続行しました。」
  - 同じシステムIDのデータが存在したため、使用されていない側のデータを破棄しました。無視して問題ありません。
  - 通常システムIDは重複しないのですが、複数のブラウザで同じユーザーが同時操作した場合や、登録の際ダブルクリックした場合などに重複が発生する場合があります。

- 「ファイルの読み込みに失敗しました。」  
「添付ファイルの複写に失敗しました。」
  - ウイルスチェックなど何らかの原因で、情報に紐付けられたデータまたは添付ファイルの実体ファイルが存在しない際に表示されます。
  - この場合、そのデータの添付ファイル欄には「消失」と表示されます。

## 内容を確認する必要があるエラー

- 「文字コード不正エラーが発生しましたが処理を続行しました。」
  - 該当のデータで、機種依存文字の使用や文字化けによりデータがコンバートされなかった場合に表示されます。
- 「[\*\*\*\*\*]の値が桁数オーバーとなるため、[XXXX]文字でカットして登録しました。」
  - 文字列が長すぎるため、desknet's NEOで登録可能なサイズに末尾がカットされました。

# データコンバートツール 全体の流れ





## • コンバート時間短縮のポイント

- 所要時間の大半はウェブメールの移行。時間短縮＝メール通数を減らす
  - メールコンバートの予想時間：並列コンバート実行数「1」での予測
  - 「ゴミ箱のメールは破棄する」→ 通数が大きく減るが、トラブル要因にも。事前に利用者にごみ箱の削除や不要メールの整理、エラーメール（From: MAILER-DAEMON）の削除などの協力を。
- 管理者画面＞アクセス数集計で「最新のデータに  」することで不要ログを削除

## • コンバート事例

	株式会社ルミカ様	医療法人 栄寿会 真珠園療養所様	広友ホールディングス株式会社様
製品	desknet'sスタンダード版	desknet'sスタンダード版	desknet'sエンタープライズ版
ユーザー数	150ユーザー	190ユーザー	700ユーザー
利用年数	6年（2014年4月時点）	11年（2014年7月時点）	7年（2013年11月時点）
利用機能	ウェブメール、回覧・レポート、スケジュール、文書管理、ToDo	回覧・レポート、インフォメーション、スケジュール、文書管理、ワークフロー、設備予約、伝言・所在	インフォメーション、文書管理、安否確認、アンケート、ワークフロー、キャビネット、電子会議室
動作環境	Windows Server2003 R2 → Windows Server 2012	Windows Server 2003 → Windows Server 2012	Linux →Windows
データ量	765GB うちウェブメール760GB/約186万件	25GB	374GB うちウェブメール155GB/約73万通
移行時間	約20時間 うちウェブメール20時間	約8時間	約9時間 うちウェブメール6時間20分



# 流れ：同じサーバーでdesknet's NEOを利用 (1/2)

## 1. サーバー環境の確認

- desknet'sがインストールされているサーバーOSがdesknet's NEOに対応していることを確認します。

作業前には必ず  
バックアップを！

## 2. 移行元desknet'sを最新バージョンにアップデート

- 対応バージョン：**desknet's V7.2J R1.0以上**
  - desknet's製品サイト>サポート>アップデートモジュール

ミドル版：V8.0J R2.3以上  
エンタ版：V8.0J R2.4以上

V7.0パッチインストール後  
「コンバートモジュールの実行」  
を忘れずに実行

① V6.0J R2.6/2.7/2.8→V7.0J R2.0パッチの実行

② V7.0J R2.0→V7.2J R1.8パッチの実行

スタンダード版はWebから  
ミドル・エンタープライズ版は  
個別にお問合せください

## 3. desknet's NEOのインストール

- サーバーに最新のdesknet's NEOをインストールします。
  - desknet's NEO製品サイト>体験版ダウンロード

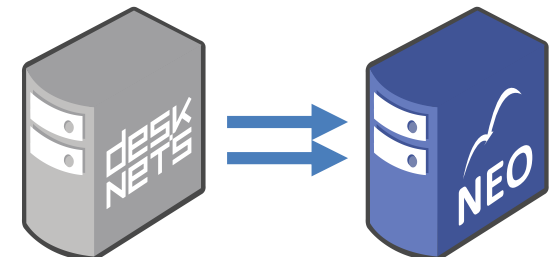
desknet's NEO本体と同じ  
バージョン・リビジョンが  
実行前に確認を

## 4. データのコンバート（テスト、本番）

- 最新のdesknet's NEOデータコンバートツールをインストールし、データをdesknet's NEOに移行します。

- desknet's NEO製品サイト>旧desknet'sをご利用のお客さま>スタンダード版からのお乗り換え>データコンバートツールダウンロード

テスト時はサービス中に実行可  
本番時はすべての関連サービスを  
止めてから実行



# 流れ：同じサーバーでdesknet's NEOを利用 (2/2)

## 5. 動作確認

- 移行されたdesknet's NEO環境は、最大60日間、試使用状態で利用できます。この間に動作確認をお願いします。
  - この間、旧desknet's環境も引き続き利用できます。

NEOの試使用期間（60日）  
足りなくなったら延長できます  
サポート窓口までご相談を

## 6. お客様コードの取得・ライセンスキー申請～登録

- desknet's NEO環境からお客様コードを取得し、製品サイトからライセンスキーを申請します。
  - desknet's NEO製品サイト> お客さまサポート> ライセンスキー申請
- 1営業日以内にライセンスキーがメールにて送付されますので、desknet's NEOに登録します。

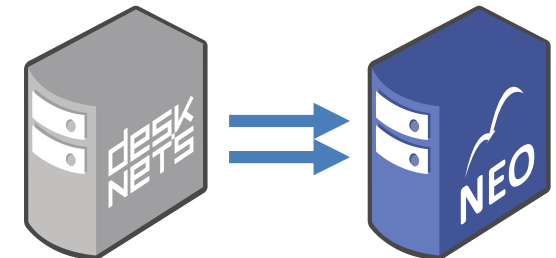
データコンバート後に  
旧desknet's環境で更新された  
データはNEOには  
反映されないので注意！

ミドル・エンタープライズ版  
からの乗換時は、  
乗換申請書の提出も必要です  
※コンバートツールの配布と  
あわせてご案内します

## 7. 移行完了

- データコンバートツールおよび旧desknet's環境をアンインストールします。
  - desknet's NEOへの移行完了後は、旧desknet's環境およびdesknet'sのライセンスはご利用頂けません。
  - desknet'sのアンインストーラー実行のみでは、データは削除されません。dnetフォルダごと削除してください。

すぐにアンインストール  
するかどうかは  
切り替えプランを検討した上で



# 流れ:別のサーバーでdesknet's NEOを利用

作業前には必ず  
バックアップを!

## 1. desknet's環境のサーバー移行

- 現在ご利用のdesknet's環境(以下「旧サーバー」)を、そのまま別のサーバー(以下「新サーバー」)に移行します。
  - あらかじめdesknet'sを最新バージョンに上げてからサーバー移行するか、サーバー移行した後にdesknet'sを最新バージョンに上げるかのいずれかで対応
  - 新サーバーのdesknet's環境の暫定ライセンスキーを申請することで、新サーバーのdesknet'sを利用可能

### ※異なるOS間での移行について

- ① desknet's NEO未対応OS(TurboLinux、Solarisなど)から対応OSへの移行  
左記の手順と同様に、まずdesknet'sのサーバー移行を実施し、新サーバーでdesknet's NEOに移行します。  
注: Windows系⇔UNIX系のデータ移行には、文字コードの変換が必要です。詳細はサポートまでお問合せください。
- ② desknet's NEO対応OS同士での移行(Windows⇔CentOSなど)  
旧サーバーでdesknet's NEOに移行してしまい、その上でサーバー移行するほうが手間が少なく済みます。  
こちらも手順の詳細についてはサポートまでご相談ください。

## 2. 新サーバー上でデータをコンバート

- 新サーバー上で、「同じサーバーでdesknet's NEOを利用(p.6)」の3.以降の作業を行います。



1. サーバーには最低4コア以上のプロセッサを搭載します。(1,000ユーザー:8コア以上)
2. メモリは4GB以上を推奨、最低でも2GB以上のメモリを搭載します。
3. ドメイン参加済みのWindowsにインストールする場合、以下に注意します。
  - ドメインコントローラーにはインストールできません。
  - ドメイン参加済みサーバーの場合、グループポリシーによりPostgreSQLのインストールに失敗する場合があります。その場合、一度ドメインから離脱した上でインストールします。
4. 新たにLinuxをインストールする場合は、64bit(x86\_64)を選択します。
  - Linux 32bit環境(i386)対応モジュールの提供は、2014/12末をもって終了しました。
  - Windows Serverについては、当面32bit版での動作をサポートします。
5. VMware、Hyper-Vなどの仮想環境では、仮想マシンの設定で仮想ネットワークアダプタのMACアドレスを「静的」に設定します。
  - 詳細:製品サイト>特長>動作環境>サーバー動作環境>仮想環境に導入する際の注意点
6. レンタルサーバーやクラウド(IaaS)のLinuxにインストールする場合、以下に注意します。
  - 「eth0」というデバイス名のネットワークインターフェースが存在しない環境にはインストールできません。
  - OS再起動などでeth0のMACアドレスが変わる環境にはインストールできません。

- **事前確認項目**

- desknet'sのバージョン
- desknet'sのインストール先
- ディスクの空き領域

→ desknet's スタンダード版コンバート関連マニュアル  
<http://www.desknets.com/neo/download/convert/>  
コンバート手順、注意事項、事前チェックシートなどを確認できます。

- **事前作業項目**

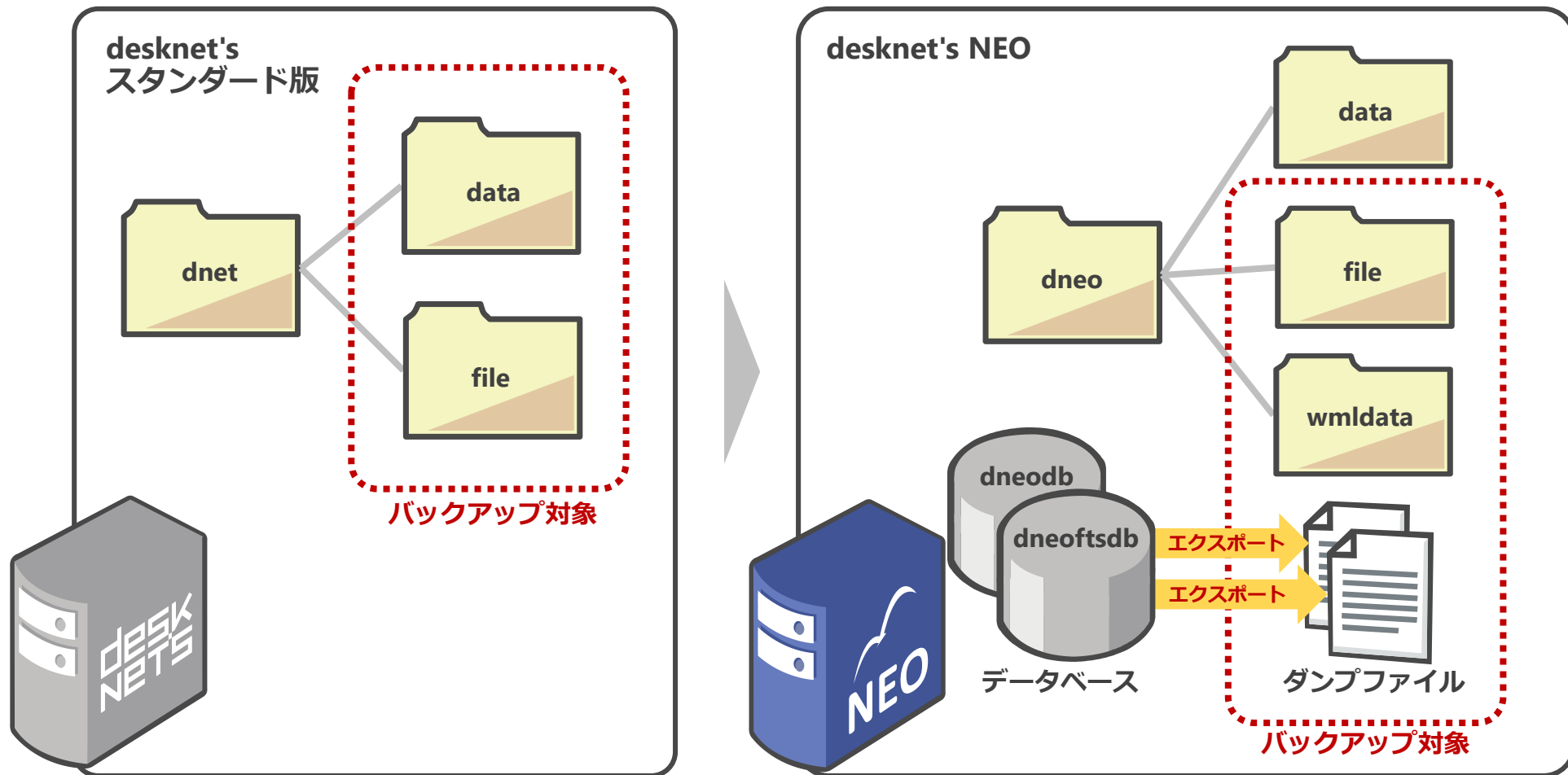
- desknet's NEOのインストール
- desknet's NEOデータコンバートツールのインストール

- **作業前チェック項目**

- 利用者への通知・アクセス制限（Webでアクセス元IPを制限/dnetディレクトリをリネーム）
- バッチ系プロセスの停止
  - スケジューラー、文書管理自動取りこみ、メール自動受信、メール整合処理
  - desknet's SSSと連携している場合、スケジュール連携の停止
- ウイルスチェック製品の停止
- バックアップソフトの停止
- 定例タスクやWindows Updateなど、OS自動再起動の抑止

# 移行後：データのバックアップ対象の変更

desknet'sとdesknet's NEOでは、データのバックアップ対象および方法が異なります。バックアップを自動化されている場合などは、あわせて設定変更をお願いします。



※ desknet's NEOの具体的なデータバックアップ方法につきましては、下記ページをご参考ください。

<http://www.desknets.com/neo/faq/result/547/>

- desknet's NEOでは、データベース対応やHTML5対応など、様々な内部設計が変更されており、性能の傾向もdesknet'sとは異なります。
- **性能が上がる可能性：**
  - **各機能における検索スピード**
    - データ管理のデータベース化により、検索処理の性能が向上します。
  - **ウェブメール全般**
    - メールデータ管理方式の見直しにより、応答性能および安定性が高まっています。
- **性能が下がる可能性：**
  - **応答性の低下(サーバーのリソース不足)**
    - 搭載プロセッサのコアが少ない場合（シングルコア）、搭載メモリが少ない場合（1GB以下）に、システム全体の性能が低下する可能性があります。
  - **操作性の低下(クライアントPCの性能不足)**
    - 各種画面のHTML5化により、クライアントPC側での処理負荷が上がっています。古いクライアントPCでご利用の場合、操作性にストレスを感じる可能性があります。
    - 事前に製品サイトのオンラインデモでお試ください。

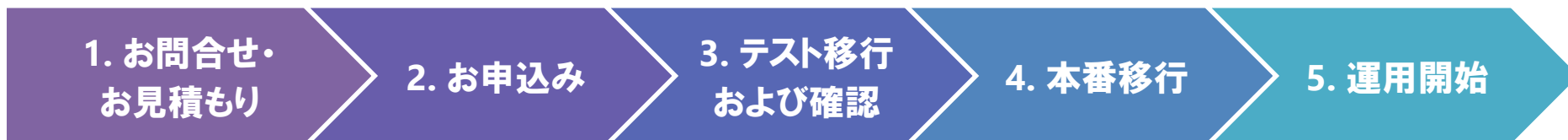


# desknet'sクラウドで desknet's NEOを使う



# 流れ:クラウドへのデータ移行 (1/2)

- 現在のdesknet's環境からdesknet'sクラウドに移行することで、コンバートやバージョンアップなどの作業を行う必要なく、クラウド環境でdesknet's NEOを利用できます。
- クラウドへのデータ移行は、弊社サポートのもと、以下の流れで行います。



## 1. お問い合わせ・お見積もり

- desknet'sクラウドサイトから弊社にお問い合わせください。
- <http://www.desknet.com/cloud/>
- 現在のご利用環境、データ容量、希望日時などをヒアリングさせて頂き、お見積りをご提示させていただきます。

データ移行作業の価格は  
①現在のサーバーOS  
②移行するデータの容量  
③作業日 (平日/土日休日)  
④作業時間(10時~/18時~/22時~)  
により変動

## 2. お申込み

- Webサイトのお申込みフォームからご利用プランを選択、1の見積りNoをご記入ください。
- サービス利用型をお申込みの場合、備考欄に「データ移行希望」と記載をお願いいたします。



## 3. テスト移行および確認

- desknet's上のデータを弊社までご送付いただきます。
  - この作業はサービスを稼働したままの状態で行えます。
  - 20GB未満：圧縮してFTPで転送
  - 20GB以上：外部ストレージによる郵送、または手渡し
  - 上記作業の弊社での代行も可能です（個別相談）
- 弊社によるコンバート実行後、結果のフィードバックおよびdesknet's NEO環境の仮提供を行います。
  - コンバートされた結果をご確認頂いた上で、本番移行の日程を調整します。

Windows : ExpLzhでLZH圧縮  
Linux : tar.gz圧縮

USB外付けHDDを  
弊社から無償でお貸し出しします  
(Windows、Linux対応)

サービスを止めずにデータを  
取得すると、コンバートの失敗や  
データの欠落が発生する可能性が  
あります

データ受け渡し後にdesknet'sで  
登録・更新されたデータは  
クラウドには反映されないので  
ご注意ください

## 4. 本番移行

- desknet'sのサービスを停止し、desknet's上のデータを弊社までご送付いただきます。
- 弊社によるコンバート実行後、正式環境を受け渡します。

## 5. 運用開始



1. 自社desknet's環境のバージョンアップ作業は必要ですか？
  - いいえ、不要です。  
旧バージョンのままデータをご提供ください。
2. TurboLinuxやSolarisなど、desknet's NEO非対応環境からの移行はできますか？
  - はい、可能です。  
手順など詳細はお問合せください。
3. 申込みから最短どれくらいで利用可能になりますか？
  - お申込みの混雑状況にもよりますが、新規の開通は最短1週間、データ移行をご希望のお客様は個別の日程調整となります。
4. 本番用のデータを渡してからサービスを開始できるまで、どれくらい時間がかかりますか？
  - コンバートするデータ容量により変動します。  
テスト移行にかかった時間をフィードバックいたしますので、そちらをご参考ください。
5. クラウドへの移行後、元のdesknet's環境は利用できますか？
  - 「サービス利用型」をご契約の場合、利用できます。ただし、元のdesknet's環境に登録された情報はクラウドには反映されません。
  - 「ライセンス持込型」をご契約の場合、利用はできません。お持ちのライセンスを弊社にてお預かりする形になります。
6. サービス解約時、データを返してもらうことはできますか？
  - はい、可能です。  
データは引き続きオンプレミス環境などで利用できます。

**移行を円滑に行っていただくために**

- desknet's NEOに移行すると、desknet'sからログイン用のURLが変更されます。(別のサーバーに移行した場合も同様)
  - Windowsの場合
    - desknet's : `http://a.b.c.d/scripts/dnet/dnet.exe`
    - desknet's NEO : `http://a.b.c.d/scripts/dneo/dneo.exe`
  - Linuxの場合
    - desknet's : `http://a.b.c.d/cgi-bin/dnet/dnet.cgi`
    - desknet's NEO : `http://a.b.c.d/cgi-bin/dneo/dneo.cgi`
- 基本の手順では「データ移行完了後は旧desknet's環境を停止・削除する」としてはいますが、円滑に移行を行って頂くため、一定期間の並行稼働をご提案します。
  - プランA:旧desknet'sの共通ポータルに引っ越した旨のコンテンツを追加
    - ポータルのインフォメーションや独自コンテンツで告知
    - ポータルのコンテンツやメニューの機能をすべて非表示+個人ポータルを利用不可に
  - プランB:旧desknet'sのパスワードをすべて初期化
    - CSVインポートでパスワードを一括リセット、全員ログインできないようにする
    - トップ画像差し替え、ログイン画面のオプションメニューに「新しいdesknet's」をリンク
  - プランC:Webサーバーの設定で強制的にリダイレクト など

- **管理者向け・一般ユーザー向け教育メニューをご提供しています。**
  - **管理者向け教育メニュー**
    - ご利用機能の各種設定項目のご説明をいたします。
    - 対象人数：最大10名、時間：最大2.5時間まで
    - 費用：6万円～（税抜、交通費別途）
    - 注意：各種設定作業を弊社ですべてお受けすることは出来ません。教育メニューの中で、お客様と1例、2例の登録作業を行い、残りの作業はお客様にて実施頂く形になります。
  - **一般ユーザー教育メニュー**
    - 詳細な教育内容につきましては、別途打ち合わせにて決定します。
    - 対象人数：最大10名、時間：最大2.5時間まで
    - 費用：6万円～（税抜、交通費別途）
- **公式サイト『お客さまサポート』もご活用ください。**
  - ライセンスキー発行、アップデート情報、サポート窓口のほか、さらなる活用にお役立ていただける情報を発信しています。
  - 他社導入事例
  - 教えて！デスクネット通 ← 弊社サポート担当者による活用blog
  - スケジュールアイコン、サンプル書式
  - ログイン壁紙





# Q&A

**大変お疲れさまでした！  
最後にアンケートにご協力ください。**

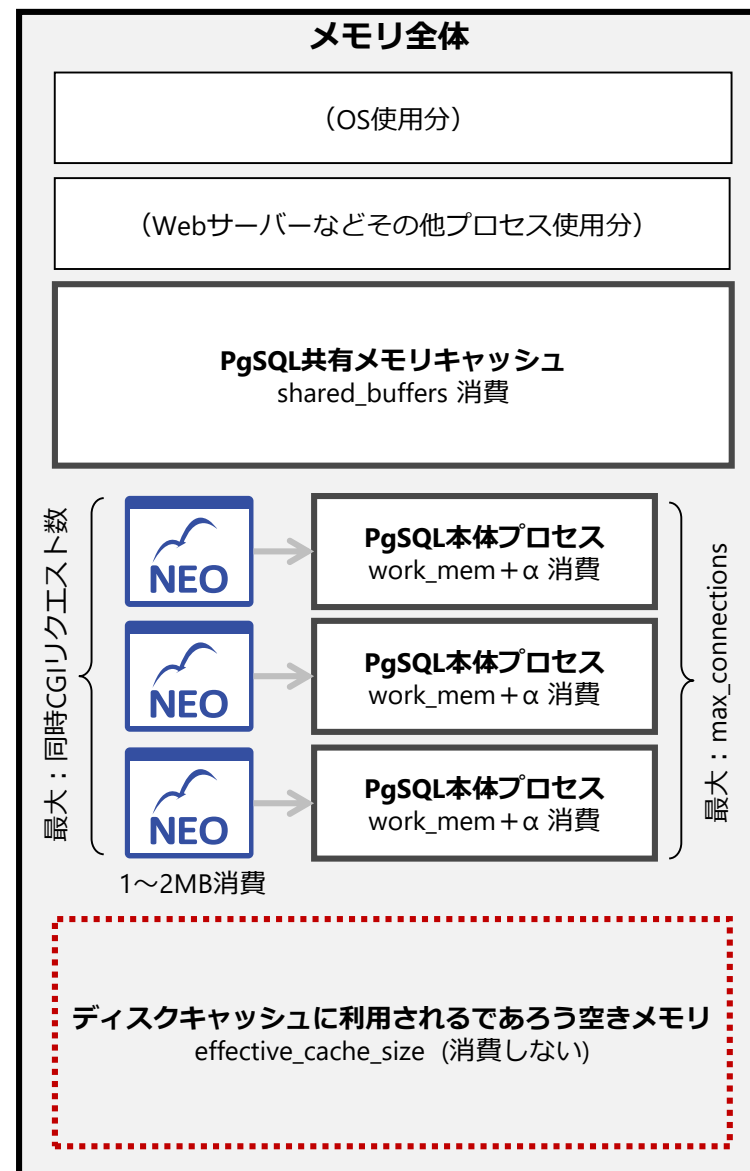
# 付録

# データベース( PostgreSQL )のチューニング desknet's NEO

PostgreSQLの各種パラメータを調整することで、よりdesknet's NEOの性能を高めることができます。

## 対象ファイル: postgresql.conf

設定項目	既定値	搭載メモリ: 推奨値
<b>shared_buffers</b> PostgreSQL全体で使用する共有メモリキャッシュ。データの蓄積が進んだ際の応答性能に影響。サーバーの搭載メモリの25%程度が妥当、あまり増やしすぎても効果はない。	32MB	2GB : 512MB <b>4GB : 1GB</b> 8GB : 2GB
<b>work_mem</b> PostgreSQLの各プロセスが使用する、ソート用のメモリバッファ。瞬間最大でメモリをwork_mem × max_connections + α 消費するため、ピークを見越した設定を。	1MB	2GB : 4MB <b>4GB : 8MB</b> 8GB : 8MB
<b>max_connections</b> 同時接続受付数。CGI実行数 > max_connections になるとタイムアウトが発生し、応答性が大きく低下する。(参考、某事例 5,000ユーザー規模のピーク時瞬間最大アクセスが50~75CGI/秒程度)	100	基本は変更不要 ピーク時にDBタイムアウトが発生する場合は調整
<b>effective_cache_size</b> OSがディスクキャッシュにどれくらいメモリを使用できるかを推定するための参考値。実メモリの消費はしない。	128MB	2GB : 512MB <b>4GB : 2GB</b> 8GB : 4GB



# desknet's NEO移行に関するよくあるご質問 (1/2)

1. 旧desknet'sからdesknet's NEOへのデータコンバートにどのくらい時間がかかりますか？
  - desknet'sのデータ蓄積数(特に添付ファイル・メールデータ)およびサーバスペックにより大きく異なります。コンバートツールの事前実行にて、見積もりをお願いします。
2. desknet's NEOへの移行後、実施する作業はありますか？
  - 移行データに問題がなく、desknet's NEOでの運用を開始できることが確認できたら、「desknet's NEO データコンバートツール」および「旧desknet's」をアンインストールして旧desknet'sのデータを削除します。
3. コンバート中にエラーが表示されました。どう対処すればいいですか？
  - 「コンバート実行結果一覧」の各機能のログにて内容が表示されます。内容が不明な場合は、その旨をサポートまでお問い合わせください。
4. データコンバートを行わず、新規にdesknet's NEOを使用する事はできますか？
  - 可能です。desknet's NEO本体インストール後、表示されるお客様コードを元にライセンスキーの申請・登録を行ってください。
5. desknet'sスタンダード版からdesknet's NEOへの乗換で費用は発生しますか？
  - いいえ、基本無償にてお乗り替えいただけます。ただし、サーバーの移行やデータコンバートツールの実行などの技術的なサポートにつきましては、desknet's スタンダード版のご購入から1年以上経過している場合、desknet's スタンダード版のサポートサービスご購入が必要となります。

# desknet's NEO移行に関するよくあるご質問 (1/2)

## 6. desknet'sスタンダード版のサポートはいつまで継続されますか？

- 以下をもちまして、desknet'sスタンダード版の販売およびサポートを終了いたします。
- 新規販売:2013年12月末日で終了
- 追加ユーザーライセンス販売およびサポートサービス販売:2015年12月末日で終了
- 製品サポート終了:2016年12月末日で終了

## 7. コンバートツールの実行と同時にライセンスがdesknet's NEOに切り替わるのでしょうか？ 事前に試すことはできますか？

- コンバートツールを実行するだけではライセンスは切り替わりません。コンバートツールの実行後、desknet's NEOのライセンスキー申請をもって、desknet's NEOへのライセンス移行が完了します。コンバートツールの実行後も、移行元のdesknet's環境はそのまま継続利用できますので、事前にコンバート処理をお試し頂くことができます。

## 8. desknet's NEO乗換後、ライセンスをdesknet'sスタンダード版に戻せますか？

- いいえ、戻せません。desknet's NEOをインストールされてから60日間無償にてお試しいただけますので、その間にコンバート及び評価をお願いいたします。

## 9. desknet's NEO乗換後はどのサポートサービスを購入すればいいですか？

- desknet's NEOスモールライセンスのサポートサービスをご購入ください。

## 10. desknet's NEO乗換後、保有しているサポートサービスはどうなりますか？

- 現在のサポートサービス期間が、そのままdesknet's NEOスモールライセンスのサポートサービス期間に移行されます。

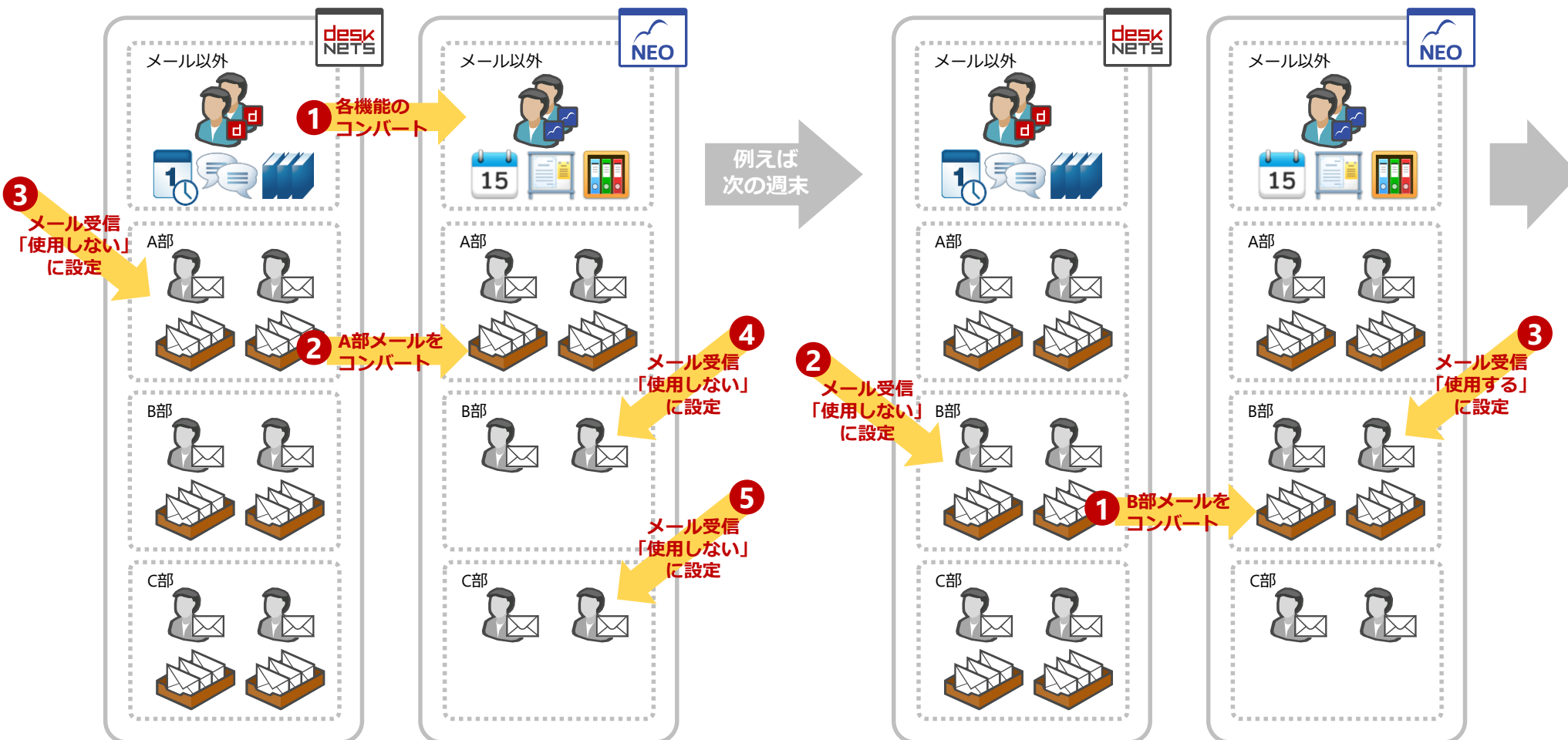
## 11. desknet's NEO乗換後、保有している予備サーバーライセンスはどうなりますか？

- そのままdesknet's NEO予備サーバーライセンスに移行されます。

# ウェブメールの複数回コンバート

## 1. 最初のデータコンバート

## 2. 2回目のコンバート



- B部、C部メンバーは desknet'sのウェブメールを使う
- ウェブメール以外の機能は使わせない（非表示など）

- ウェブメール以外は 全員desknet's NEOを使う
- A部メンバーのみ NEOのウェブメールを使う

- コンバート作業中、B部メンバーにはウェブメールを使わせないようにする

- コンバート後は、A部、B部メンバーがNEOのウェブメールを使う



## ライセンスのご購入など営業的なお問合せ:

### 電話でのお問合せ

**045-640-5910**

営業時間：平日9:00～12:00 13:00～18:00  
※土日祝日、弊社指定休日を除く

### メールでのお問合せ

**neo@desknets.com**

## データ移行やデータコンバートなど技術的なお問合せ:

### Webからのお問合せ

desknet's製品サイト> サポート> 購入者お問合せ

**[https://ssl.neo.co.jp/desknets/standard/support/inquiry/inq\\_contract.html](https://ssl.neo.co.jp/desknets/standard/support/inquiry/inq_contract.html)**

営業時間：平日10:00～12:00 13:00～18:00 ※土日祝日、弊社指定休日を除く

# NEOJAPAN